

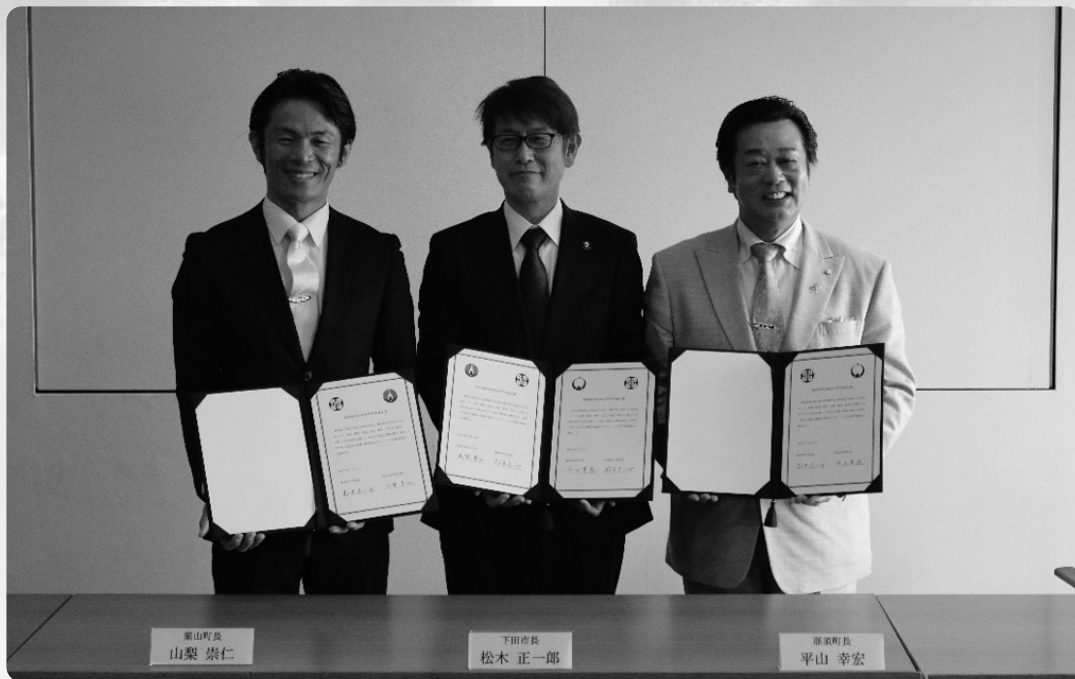
〈栃木県〉

〈神奈川県〉

〈静岡県〉

那須町 × 葉山町 × 下田市

「御用邸所在地友好都市協定」を締結



協定書を手にする（左から）山梨町長（葉山町）、松木市長（下田市）、平山町長

1月14日、町は静岡県下田市と「御用邸所在地友好都市協定」を締結しました。同日、神奈川県葉山町と静岡県下田市も、同様の協定を締結。その後、3市町が友好を分かち合う覚書を交わし、「御用邸がとりもつ友好の輪」ができました。

これまでの経緯

那須町と葉山町は、互いに御用邸を有する縁で、平成24年から双方の議員が両町を訪問し合い、互いの絆を深め、昨年5月に友好都市協定を締結しました。これをきっかけに、下田市からも同様の協定締結の申し出があり、1月14日、下田市と友好都市協定を締結しました。

全国に15カ所所建造された御用邸のうち、現存するのは「那須御用邸（那須町）」「葉山御用邸（神奈川県葉山町）」「須崎御用邸（静岡県下田市）」の3カ所のみ。御用邸とともに歴史を歩んできた3市町が、今後、さらに交友関係を深め、協力していくこととなりました。

友好都市協定締結式

協定締結式は、「下田市制施行50周年記念式典」内で行われ、平山町長をはじめ、山梨崇仁（やまなしたかひと）葉山町長、松木正一郎（まつきしやういちろう）下田市長、池澤昇秋町議会議長、葉山町の待寺真司町議会議長、下田市の滝内久生市議会議長らが出席しました。

3市町長は協定書に署名し、産業、経済、観光、文化、教育、防災など幅広い分野での交流を通じ、相互の信頼と理解を深め、友好関係をさらに推進していくことを確認しました。

この協定に基づき、今後、政策等の情報交換と質の向上に向けた研さん、災害時の相互連携と支援観光・スポーツ・文化等の分野での相互連携、子どもたちの海・山体験交流事業等を予定しています。



「下田市制施行50周年記念式典」での協定締結の様子

【あいさつ紹介】

○那須町 平山幸宏町長

「互いの自然環境の違いを生かしながら、観光・物産面も含め、教育・文化・経済など、さまざまな分野で交流を深め、夢ある未来へとつなげていきたい。この協定が、新たな時代の幕開けになることを期待します」



3市町の発展と末長い友好関係への決意を述べる平山町長

○葉山町 山梨崇仁町長

「この度の協定締結で、3市町における友好都市という形が明確になった。今後は、共通する豊かな自然や美しい景観、そしてそこに住む方々が町の品格を大事にできるよう、交流を深めていきたい」

○下田市 松木正一郎市長

「全国に3カ所しかない御用邸の所在地の間で、友好都市協定を締結できたことを誇りに思う。今後、御用邸所在地としての誇りを胸に、3市町で連携を深め、まちの発展に努めていきたい」